

2021年度 久留米大学 後期理系 第4問

問題 1から25までの数字が1つずつ重複せずに書かれた25個の球が箱に入っている。次の問いに答えよ。ただし、以下でいう取り出された球に書かれた数字の和とは、例えば、1と8と14と20が書かれた球が取り出されたとき $1 + 8 + 14 + 20 = 43$ である。

(1) この箱の中から2個の球を取り出すとき、取り出された2個の球に書かれた数字の和が偶数になる確率は

$\frac{\boxed{\text{あい}}}{\boxed{\text{うえ}}}$ である。

(2) この箱の中から2個の球を取り出すとき、取り出された2個の球に書かれた数字の和が5の倍数になる確率は

$\frac{\boxed{\text{お}}}{\boxed{\text{か}}}$ である。

(3) この箱の中から22個の球を取り出すとき、取り出された22個の球に書かれた数字の和が3の倍数になる確率は

は $\frac{\boxed{\text{きくけ}}}{\boxed{\text{こさし}}}$ である。